



スーパーGT 第5戦 2022年8月27-28日 鈴鹿サーキット



## 予選 20th / 決勝 4th

前回の富士大会で発生したマシントラブルを修復し真夏の鈴鹿、450kmのロングレースに挑みます。

事前に修復してきたものの、走行中に再び同じ症状が出てしまい公式練習から速さが足りず、予選でも苦戦。苦しみながらの決勝でしたが、チームの総合力で粘り強く戦い4位まで大きく順位を上げ、入賞することができました。

たくさんの応援、ありがとうございました。



### <予選>

予選はBグループ。想定より気温は低く、Q1突破を目指して吉田選手が走行。タイムは伸びず10位で終了。Q2には進めませんでした。この結果、決勝は後方の20位からスタートになりました。

### <決勝>

決勝日、少しずつ陽がさし始め、気温も高く夏日になってきました。レースは450Km、77周、2回のピット義務があります。スタートドライバーを担当、まずは確実にスタートを切ります。このオープニングラップ後、すぐにピットに入り給油を実施。ピット義務を消化しつつ、前後がクリアーな状態で周回を重ねます。速さが無い中、マシンを労わり堅実に走行しながら40周でピットイン。2回目のピットで、給油とタイヤ交換を実施し吉田選手につなぎます。



後半に入った44周目に#244がクラッシュしSCが入りましたが2回のピットを終えていたことでポジションアップに成功します。SC解除後には、前を走るマシンにトラブルやペナルティが続いたことで一時は表彰台も見えてきました。しかしながら、65周目に速さに勝る#30にかわされて4位。攻めることは難しい中でしたが最後まで堅実に走り切り、16台抜きとなる4位でチェッカーを受けました。

450kmのロングレースは、チームの戦略、ピット作業、粘りの走りという総合力で順位を上げ入賞することができました。たくさんのご支援と応援をいただき、ありがとうございました。

次戦は9/17-18スポーツランドSUGOです。マシンの状態を確認し、万全の態勢で挑みます。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。